

みなとっ子（1月）

大湊小学校だより

令和4年1月11日発行

家庭数

－ 正月の 子供になって 見たき哉 － 小林 一茶

新年、明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお祈りいたします。本日より、子どもたちの元気な声が校舎の中に戻り、学校は活気にあふれています。1月から3月は、1年間の締めくくりをする大切な学期です。教職員一同、子どもたちの更なる成長に向けて、日々の学校生活の充実に取り組んでまいります。保護者の皆様、地域・関係者の皆様には昨年に引き続き、本校の教育活動についてのご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



1月の主な行事予定

日本のお正月の歴史をみる ～お年玉はお餅だった！～

予定は変更もあります。ご了承下さい。(詳細は学級だより等参照)

日	曜	行 事 等
1	土	元 旦
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	成人の日
11	火	集団登校 始業式 給食開始 委員会
12	水	
13	木	PTA役員会⑥
14	金	定時退校日
15	土	
16	日	
17	月	集団登校
18	火	
19	水	
20	木	集団登校 交通安全指導 口座引落①
21	金	火災訓練
22	土	
23	日	
24	月	集団登校 集会
25	火	代表委員会
26	水	
27	木	
28	金	パワーアップ事業 口座引落②
29	土	
30	日	
31	月	集団登校



お正月の一大イベントともいえるお年玉。ここでお父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃんからお年玉をもらい、ゲームを買ったり、貯金して遊ぶ時の資金にしたりと、子どもにとってはその後1年間を過ごすためのとても大事な日です。しかし、そもそものお年玉はお金ではなくお餅でした。ことの始まりは、神様へのお供え物。お供えしていたお餅を下げる時に、家族や子供に配ったことに由来します。今の感覚からしたらお金がほしい人のほうが圧倒的だと思いますが、この時代はきっとお餅でも大喜びで、近所の友達とわいわい食べていたのではないのでしょうか。お金よりもお餅。そんな平和なお正月が想像できます。

～今と変わらない寝正月、しかし武士は大忙し～

江戸時代、町人のほとんどは寝正月だったようです。江戸時代の人々も、お正月は食べて寝てとぐうたら過ごしていたようですね。子どもは羽根つきや凧揚げなど、年明けから元気よくお正月遊びをしていました。今と違ってゲームなんてものはないので、これがこの時代の最新の遊びだったのでしょう。そんな町民たちのほのぼのとしたお正月の一方、元旦から忙しくしている人たちもいました。そう、武士です。武士は上下関係も礼儀も道徳も重んじる身分です。

そんな武士は元旦から主君へ挨拶、将軍へ挨拶と走り回っていました。将軍への挨拶なんて、順番待ちもいいところです。なかなか順番が回ってこないのも何時間も待つこともしばしば。アトラクションを待っているようなあの地獄の時間です。将軍への挨拶が終わったら次、また次と元旦から営業活動をしているわけですね。新年早々から気が休まりません。挨拶まわりが終わるころにはクタクタで家に帰っていたことでしょう。



第2回国際交流会で英語力を磨きました。

12月14日(火)に、本年度第2回目の国際交流会を開催しました。今回のゲストの方は、Rana Rokendraさん(ネパール) Zou Souさん(中国) Sadiaさん(バングラデシュ)の3名です。各学年とも2学期に学習した英語を使って、懸命にアピールをしていました。来ていただくゲストの方は、日本語が分かる方もいますが、子どもたちには英語でしか話しません。ネイティブなトークに一生懸命耳を傾けるうちに、自然とコミュニケーションをとっている児童の顔は真剣そのものでした。



【2月の主な日程】

- ・7日(月)集会
- ・8日(火)学校支援委員会
- ・10日(木)園児一日体験入学
保小連絡会
- ・19日(土)参観日・大縄跳び大会
お弁当の日
- ・21日(月)代休
- ・22日(火)交通安全日
- ・28日(金)集会



ざんねんな生き物辞典 Part 5

【カタツムリの歯はベロの上にある。しかも、2万本】

カタツムリの頭には、大きな触角と小さな触角があります。そして、小さな触角のすぐ下に口があるのですが、その中には表面に小さな歯が2万本も生えてた舌のようなものがしまわられています。これは「歯舌(しぜつ)とよばれます。カタツムリは、歯舌をやすりのように使うことで、植物の実や歯をけずりとって食べているのです。歯は、使ううちにどんどんすり減っていきますが、いくらでも生えてくるので問題ありません。ちなみに、舌に歯が生えていたら味なんてわからなそうですが、かれらが味を感じるのは、小さな触角の先だそうです。

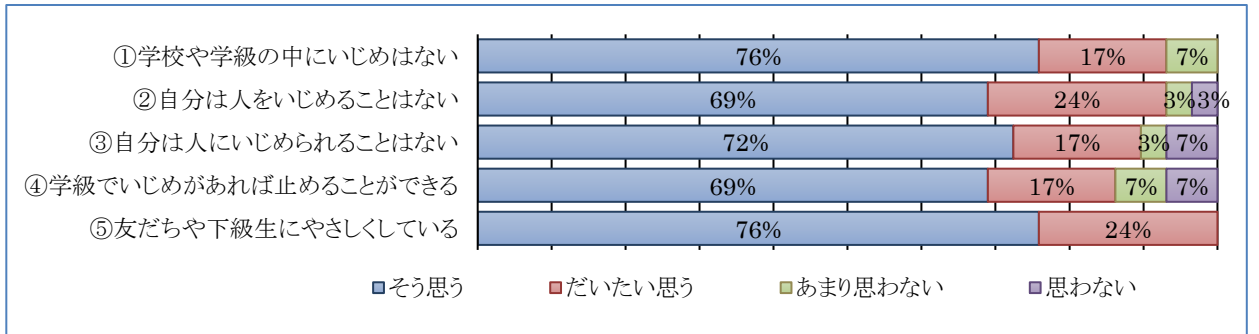


児童アンケートの結果について（令和3年12月実施）

今年度も児童の学校生活を把握し、より良い教育活動に取り組むことができるよう、児童アンケートを実施しました。数値だけをもって全てを判断するわけではあませんが「そう思う」・「だいたい思う」の割合（肯定的評価率）は、全体的に良好な状況でした。しかし、課題もありますので、これからの取り組みの充実を図ります。アンケートの6項目について、若干の考察をしていますのでご覧いただき、お気づきの点は学校までご意見をお寄せください。

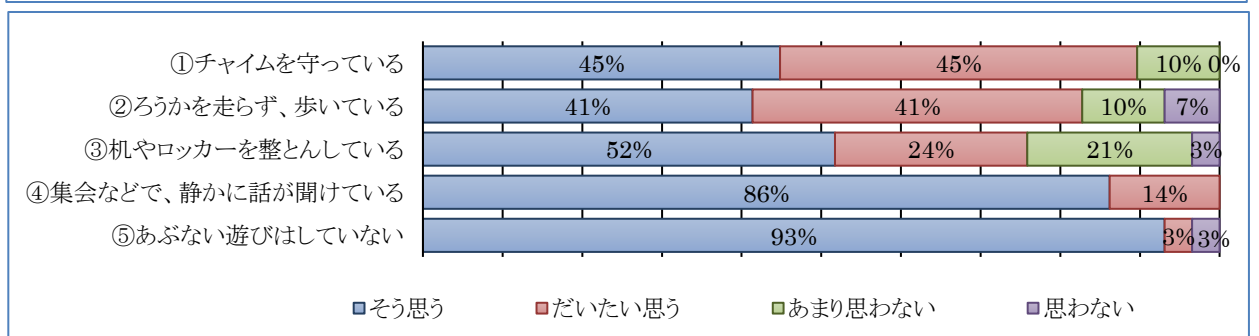
『いじめ』

①「いじめはない」の肯定的評価率93%、②「自分は人をいじめることではない」の肯定的評価率93%、③「人にいじめられることはない」の肯定的評価率89%、④「いじめがあれば止めることができる」肯定的評価率86%です。7%の児童は「いじめはないと思わない」「あまり思わない」と捉えていました。また「いじめ」を受けたと感じている児童は10%で、昨年より減少していますが、今後も、全教員で個別の相談やいじめの無い学級づくりに努めていきます。



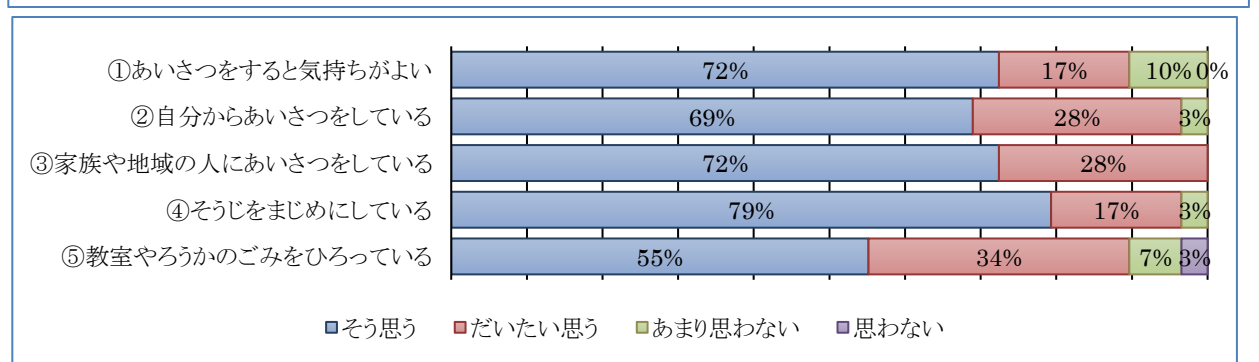
『ルールやきまり』

①「あぶない遊びをしていない」の肯定的評価率97%と。校外生活のルールを守っている児童が多いです。また、②「ろうかを歩く」③「整理・整頓」ができていない児童が2割程度いますが、日頃からの声かえを大事にしながら、地道な指導に努めていきます。④の話を行くことに関しては、どんな場面でもよく集中して話が聞いている児童が多いです。



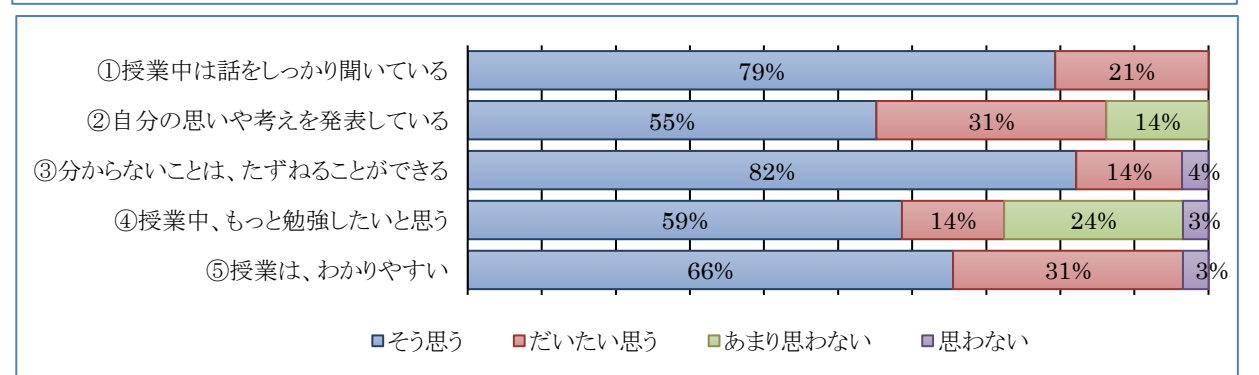
『あいさつ・そうじ』

①ほとんど児童が、朝夕に職員室に来て、元気よく挨拶ができています。④そうじについても96%が肯定的評価で日々の清掃活動にまじめに取りめています。学校では、掃除への評価活動を通じて、子どもたちの「やる気」を育てています。ご家庭でも、進んで掃除をする習慣や、お手伝いの習慣をつけていただければと思います。⑤教室やろうかのゴミを自分から進んでひろう。の項目で少し課題がありましたが、ロッカー等は各自整理整頓に心掛けており、今後も継続させていきたいです。



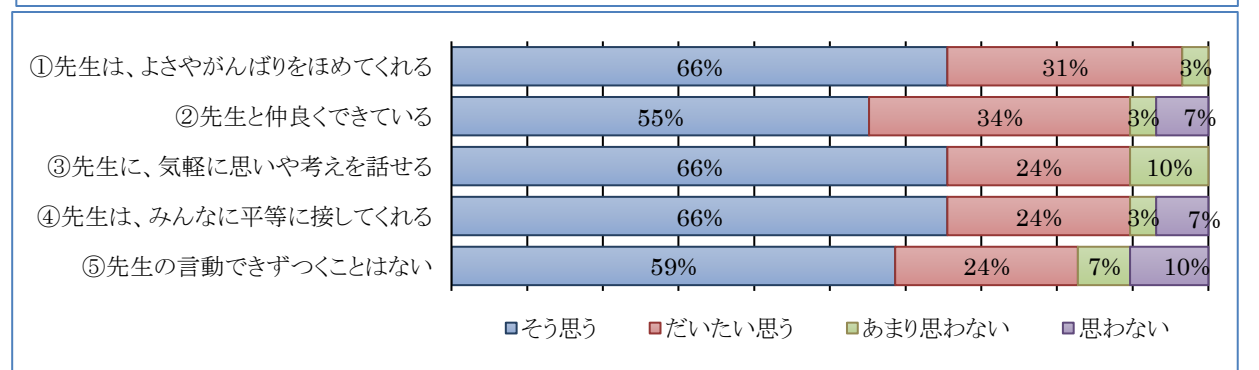
『授業』

①ほとんどの児童が、授業中は話をしっかり聞いていますが、④「もっと勉強したい」の項目で、あまり思わない。思わない。と回答している児童が28%いました。今後、学習意欲を高めるために、授業等の指導方法の工夫や改善に努めます。また、⑤「授業は、わかりやすい」と感じる児童の割合は97%で学習内容の定着に今後も取り組みます。日々の家庭学習の習慣も必要ですので、ご家庭での支援のご協力をお願いします。



『先生』

①「先生は、よさやがんばりをほめてくれる」で、あまり思わない、思わないと答えた児童は3%います。どの児童に対してもほめること、評価することを大切に、やる気を育てることを大切に取組みます。また②「先生と仲良くできている」③「先生に、気軽に思いや考えを話せる」で、あまり思わない、思わないと答えた児童が10%います。昨年度からは改善傾向にありますが、日頃からのコミュニケーションを大切に、児童の気持ちに寄り添えるよう取組を進めます。



『自尊感情』（自分を大切に思う気持ち）

子どもたちの自分自身に対するアンケートを見ると、⑨自分は短所より長所が多い。⑧自分のことが好きだ。⑤自分はコツコツ努力する。⑫自信を持っているいろいろなことができる。等の項目で、否定的な回答をした児童がいました。学校では、いろいろな体験を通して、自分のことに自信を持たせたり、最後まで物事をやり遂げる気持ちを育てていきたいと考えています。ご家庭でも、子どもの良さや、頑張りを認めることで、何事にも積極的に挑戦していけるよう励ましの声掛けをよろしくお願いします。

